

ごあいさつ

初夏の候、皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

金沢市議会議員として3年間の任期を務め、4年目を迎えました。
これまで「エンジニアの視点を市政に」と訴え続けてきたDX推進や公共交通の
利便性向上などの政策が、今、具体的な成果として形になり始めています。

この間、私は「現場主義」を貫き、国内外で精力的に活動してまいりました。
10月のオーストリア公演では合唱を通じた音楽文化交流に尽力し、併せて現地のLRTなどの
都市交通を視察。11月のシンガポールでは最新の都市計画やロボティクス教育の現場を
調査しました。国内においても、広島、九州、関東、兵庫・敦賀といった先進事例の視察を重ね、
得た知見を公共交通や科学技術投資、子育て支援などの政策提言へと繋げております。

地域においては、諸江地区の金沢市編入100周年記念事業を完遂し、
その集大成として記念誌を発刊しました。伝統芸能の継承や寺子屋学習塾の企画を通じ、
多世代が地元に誇りを持てる基盤づくりに努めるとともに、防災士として大規模治水
インフラの調査や通学路の除雪対策など、安心・安全な地域づくりにも邁進しております。

今回のレポートでは、令和7年12月定例会での議会質問の内容を中心に、
これまでの活動成果をご報告しております。ご一読いただき、
皆さまの率直なご意見・ご要望をお寄せいただければ幸いです。

今後とも、皆様が一番近くで「現場の声を政策に」反映すべく全力で取り組んでまいります。



金沢市議会議員 柿本 ^{あきひろ} 章博

各種 SNS などでも最新の情報を発信しております。



インスタグラム



フェイスブック



エックス
(旧ツイッター)



公式ライン



スレッド



ホームページの活動報告を更新中!
<https://kakimotoakihiro.com/>

柿本あきひろ Profile

1967年 金沢市生まれ、諸江町小、浅野川中、金沢泉丘高、東北大卒業、東北大院修了
1992年 (株)PFU入社(7年間の米国駐在)、2023年 (株)PFU退社、金沢市議会議員選挙で初当選
総務常任委員 観光政策特別副委員長 自由民主党金沢市議員会所属(政務調査会副会長)

柿本あきひろ 市政報告レポート

REPORT

発行者 柿本あきひろ事務所
〒920-0015 金沢市諸江町上丁206-9
TEL(076)201-8884 FAX(076)201-8682
✉ info@kakimotoakihiro.com

事務所公式キャラクター
かっきー君



エンジニアの視点を市政に。 提言から実装へと繋げた具体的な成果



「かなパス」
(デジタル市民パスポート)



中小企業DX・セキュリティセミナー開催



北鉄タッチ決済機



金沢版モビリティハブ運用開始



ひがし茶屋街周辺トイレの
「混雑見える化」



金沢マラソンアプリ「まちなかクーポン」

これまで議会で粘り強く提言してきた政策が次々と形になり、市民生活の利便性向上に繋がっています。

分野	実現した政策・成果
DX推進	「かなパス」(デジタル市民パスポート) リリース、市公式サイトへの生成AI導入決定(令和8年度中に導入予定)、中小企業DX・セキュリティセミナー開催
公共交通	北鉄タッチ決済・ICa全線利用開始、金沢版モビリティハブ運用開始(香林坊・金石)、金沢駅東口サインエージ刷新
観光政策	ひがし茶屋街周辺トイレの「混雑見える化」アプリ導入、金沢マラソンアプリへの「まちなかクーポン」機能追加、観光地活用による混雑状況のリアルタイム映像公開
教育文化スポーツ	WRO(ロボット競技)国際大会視察を通じた誘致推進、国指定名勝「西氏庭園」保存活用計画の予算化、金沢マラソン能登応援支援の強化、金沢スタジアムへの誘導シート整備



WRO国際大会視察(シンガポール)



金沢スタジアムへの誘導シート整備

国内外の先進事例を精力的に視察し、 金沢への応用策を検討しました。

「現場主義」を貫き、国内外の最先端事例を直接調査することで、金沢に最適な施策を立案しています。

●オーストリア(10月)：

ウィーン・リンツにてLRTやMaaS 3.0の運用現場、歴史的な街並みと公共交通が高度に共存する都市設計を視察しました。

●シンガポール(11月)：

最新の都市計画、「時刻表のないバス停」や高度なキャッシュレス決済、次世代を担うロボティクス教育の現場を調査しました。

●国内視察：

●広島(1月)：

JR駅ビルへの路面電車乗り入れ事業「minamoa」や、駅周辺の賑わい創出拠点「コイプレ」を視察。

●兵庫・姫路・敦賀(1月、3月)：

姫路城での「二重価格制度」による観光財源確保策や、敦賀駅前の歩行者空間整備を調査。さらにSPRING-8(世界最高峰放射光施設)視察を通じ、科学技術投資の重要性を確認しました。

●九州(11月)：

熊本市電の延伸、長崎駅周辺の再整備、さらにTSMC進出で急成長する熊本県大津町の産業集積・多文化共生・子育て体制を視察。

●関東(10月)：

三鷹市のAIデマンド交通、小山市・相模原市の新交通システムなど、多角的な移動支援策を調査しました。



ウィーンLRT
(オーストリア)



シンガポール



広島市



姫路市



SPRING-8(兵庫県佐用町)



長崎市



最新の半導体工場(熊本県)



栃木県小山市

文化を架け橋に国内外へ! 金沢の魅力を世界と次代へつなぐ

10月に石川県合唱連盟の一員としてオーストリア公演に参加し、ウィーンやリンツで邦楽と合唱を披露。ユネスコ創造都市・金沢の文化を世界へ発信しました。また12月には「第九」演奏会にも出演し、国内においても合唱を通じた文化振興に尽力。さらに3月には市議連として台北駐日経済文化代表処などを訪問し、多角的な相互交流に向けた意見交換を行いました。



ウィーン公演に出演



オーストリアでの文化交流



第九公演に出演



台北駐日経済文化代表処訪問

諸江の誇りを次世代へ! 100周年の節目と伝統芸能の継承

諸江地区の金沢市編入100周年記念事業において実行委員長を務め、その集大成として「100周年記念誌」を発刊しました。また、地区の獅子舞および諸江住吉おどり保存会の会長として伝統芸能の指導に注力するほか、地元神社での「寺子屋学習塾」を企画。お年寄りから子供までが集い、誰もが地元で誇りを持てるまちづくりの基盤を築いています。



「100周年記念誌」を発刊



諸江町上丁獅子舞



住吉おどり披露



地元神社での「寺子屋学習塾」

防災士×エンジニアの視点で「災害に強いまち」を加速させる

防災士として現場感覚を大切に、地域防災訓練や近岡緑地の大規模雨水貯留施設の視察・調査を重ねています。また、地域用水路の氾濫対策や、冬場の切実な課題である「通学路の除雪」にも注力。議会質問や担当部署との協議を重ね、安全確保に向けた具体的な改善策を進めています。現場の声を力に、ハード・ソフト両面から命を守る「災害に強いまち」を構築します。



地域防災訓練



近岡緑地の大規模雨水貯留施設視察



用水の氾濫対策、通学路の除雪など改善を進めています



通学路の除雪が改善されて安心です



(住民の声)

現場の声を政策の柱に。副委員長として取り組む市民福祉の向上

市民福祉常任副委員長として、市議会主催の市民意見交換会に出席したほか、自ら村山市長を招いて地域意見交換会を企画・開催しました。また、地域のイベントや各種会合にも積極的に足を運び、皆様から直接伺った切実な声を丁寧に聞き取り、市政へ反映させています。こうした「現場主義」の活動報告は街頭演説でも直接お届けしており、これからも皆様の「一番近く」で寄り添い、安心・安全な地域づくりを推進してまいります。



市民との意見交換会
(市民福祉常任副委員長)



村山市長を交えた
意見交換会



地域の餅つきイベントに参加



街頭演説

ご清聴
ありがとうございます!



金沢スタジアム整備と関連事業について

開場記念「スポーツパークフェスタ」の成果と、スタジアムへの愛着を育むための継続的な実施について問う。あわせて、公共交通利用を促す「歩いてゴースターキャンペーン」等の評価と、安全確保の観点から磯部駅方面の歩道整備を再考すべきではないか。



村山市長

A. イベントと交通施策／ギネス記録樹立を含む約4,500人の参加があり、スタジアムの活用に大きな手応えを得た。交通施策も一定の利用促進効果が認められたため、**協力店舗の拡充や公共交通機関とのタイアップなど、さらなる機運醸成と利便性向上に取り組む。**

一部 津田文化スポーツ局長 答弁

磯部駅方面の整備／駅構内の滞留スペース不足など安全上の課題があるため、現在は東金沢ルート等を推奨している。西側ルートについては、**交通事業者や警察等の関係機関との協議も含め、引き続き今後の研究課題**としたい。

観光政策について

金沢大学との実証実験を踏まえた「トイレ混雑状況可視化」の正式運用方針と、東山地区への仮設トイレ設置および常設化に向けたスケジュールを問う。また、国名勝・西氏庭園の取得検討状況と、庭園文化の魅力を世界へ伝える発信拠点としての活用ビジョンを問う。



村山市長

A. トイレ混雑対策／2ヶ月間の実験データを詳細に分析し、**次年度予算編成の中で混雑解消に効果的な設置場所や数量を精査する。**常設化については、その他の対策との整合性を見極めながら判断していく。

西氏庭園の活用／取得に向けた具体的な協議を丁寧に進めており、現在2カ年計画で保存活用計画を策定中である。**茶の湯や工芸技術とも密接に関連させ、奥深い金沢の文化を五感で体感できる拠点施設を目指す。**

公共交通政策について

「のりまっし金沢」の二次元コード乗車券について、利用者の利便性をさらに高めるため、利用可能エリアの拡大や北鉄線との連携、さらには市民のライフスタイルに合わせた新たな券種の発行など、サービスの早急な拡充が必要と考えるが、今後の展開を問う。



村山市長

A. サービスの拡充方針／現在、**デジタル乗車券の対象を北陸鉄道線や一部のフラットバスへ拡大する整備を進めている。**10月にはイベント連動型のフリー乗車券も販売しており、今後も交通事業者と緊密に連携しながら、機能拡充と利用促進を加速させていく。

デジタル政策について

「デジタル市民パスポート」の開発進捗と、避難所運営のデジタル化に向けた具体的な運用スケジュールを問う。また、普及の鍵となるポイント機能等のインセンティブ検討状況や、市内中小企業をサイバーリスクから守るための具体的な啓発活動の展開を問う。



村山市長

A. 市民パスポート／**今年度中にアプリを公開し、試験運用を経て来年秋の市民防災訓練での本格運用を目指す。**ポータル機能の提供に加え、利用状況を見ながらポイント機能等の拡張を検討する。

村角都市政策局長 答弁

セキュリティ対策／国の支援制度紹介に加え、**専門家を企業実践アドバイザーに加えることや、関係機関と連携した啓発セミナーの再開催を検討し、**中小企業の安全な経営環境を支援していく。

ロボ活・IT部活について

世界大会で活躍した「ロボ活・IT部活」の成果をどう評価し、新産業成長ビジョンにおいて次世代人材育成をどう位置づけるか。また、将来の金沢を担う人材育成とシティプロモーションを兼ね、ロボット競技の全国大会を本市に誘致すべきではないか。



村山市長

A. 人材育成とビジョン／短期間で世界大会出場を果たした快挙を高く評価する。**新産業成長ビジョンにおいても「次世代ICTエンジニアの育成」を柱に掲げ、優れた産業人材を育てるとともに地元雇用にも繋げていく。**

大会誘致の検討／過去の誘致実績が現在の活動の起点となった。**どの大会を誘致すべきかも含め、関係機関とも協議しながら前向きに検討を進めていきたい。**

音楽文化振興について

オーストリア公演の成果と、邦楽と合唱の融合といった独自文化の国際発信について問う。また、大規模練習場所の不足に対し、市民芸術村のリニューアルや学校跡地利用においてスペース確保を考慮できないか。あわせて、市長の「第九」合唱への参加を提案する。



村山市長

A. 国際交流と練習場／市民による草の根の国際交流は極めて重要であり、今後も支援を続ける。**市民芸術村のリニューアルや学校跡地の利活用**に際しては、**大規模な練習にも対応できるスペース確保を検討していく。**

一部 新保副市長 答弁

「第九」への参加／練習時間の確保など現実的なハードルはあるが、**市民と一緒に何らかの形で参加したいという気持ちを持っている。**